

令和4年度 第7回 国立大学法人鹿屋体育大学経営協議会議事要旨

1. 日 時: 令和5年3月15日(水) 13時00分~13時55分
2. 開催方法: web 会議
3. 出席者:【学内委員】金久、前田、平川、原田の各委員
【学外委員】泉、藤本、宮嶋の各委員
4. 欠席者: 上治、小館、中西の各委員
5. 列席者: 秋元監事、小林監事、金高学長補佐、濱田学長補佐、前阪学長補佐、山田附属図書館長、教務課長、学生課長、国際・学術情報課長、研究・社会連携課長、総務課長、経営戦略課長、施設課長、広報・企画室長、監査室長

6. 内容

(質疑の○は学外委員の発言を、●は学内委員及び学内者の発言を示す。以下同じ。)

1) 前回議事要旨確認(確認資料1)

令和4年度第6回議事要旨案について確定された。

2) 審議事項

(1) 令和5年度鹿屋体育大学予算案(当初予算)について(資料1)

平川委員から配付資料に基づき、令和5年度予算案(当初予算)について説明があり、審議の結果原案どおり了承された。

- : 人件費減額の要因は何であるか。また、令和5年度、令和4年度当初予算の右に記載のある「対前年度当初予算」の記載方法については、分かりやすいように工夫すべきではないか。
- : スポーツイノベーション推進機構に係る人件費は、戦略的経費に計上している。令和5年度は教職員補充の遅れを見込んだ予算となっている。「対前年度当初予算」の記載方法については、今後対応する。

(2) スポーツイノベーション推進機構の設置に伴う学内規則の改正等について(資料2)

前田委員から配付資料に基づき、スポーツイノベーション推進機構に関する学内規則の改正等について説明があり、審議の結果原案どおり了承された。

(3) 鹿屋体育大学職員の育児休業、介護休業等に関する規則の一部改正について(資料3)

川西総務課長から配付資料に基づき、職員の育児休業、介護休業等に関する規則の一部改正について説明があり、審議の結果原案どおり了承された。

3) 報告事項

(1) 令和5年度入学生の入試状況について(報告資料1)

前田委員から配付資料に基づき、令和5年度入学生の入試状況について報告があった。

- : 志願者が2割減とのことであるが、分析についてはどういう状況であるか。
- : 現在、他大学の状況も出揃っておらず、分析中である。少子化に伴い、大学入学共通テストの志願者も減っている。報道によると、都市部の大学は志願者数は保っているが、地方の大学は苦戦しているとのことである。また、体育に関して、国立大学に大きな変化はないが、私立大学は多くの学生が受験しているとのことである。原因は明確には分かっていないが、引き続き対応していきたい。
- : 全国的な流れと経年変化を見ながらマクロ分析も含めて検討してほしい。
- : 部活動の地域移行の影響もあり、今までよりも体育の教員志望者が減るのではないかと推測されるが、その点についてはどう考えるのか。
- : 部活動の地域移行については、原因の一つと考えるが、それだけではなくあらゆる可能性も含めて検討していきたい。

- :難しい問題ではあるが、今後、入試や教育課程について全学的な意見交換を行い、アドミッションの方針等もより明確にしたうえで検討していきたい。

(2)令和4年度授業料免除等の実施状況について(報告資料2)

前阪学長補佐から配付資料に基づき、令和4年度の授業料免除等の実施状況について報告があった。

(学内外の諸情勢について)

(3)本学関係者の活躍について(報告資料3)

平川委員から配付資料に基づき、本学関係者の活躍について報告があった。

4)その他

(1)令和5年度の経営協議会開催日程について(その他資料1)

川西総務課長から配付資料に基づき、令和5年度の経営協議会開催日程について説明があった。

(2)九州・沖縄地区の国立大学法人における研究力向上の連携について(資料なし)

学長から、九州・沖縄地区の11の国立大学間において研究力向上のための覚書を締結することとなり、その締結式が3月21日に行われることの報告があった。

以 上